

### 第3回檜葉町職員不祥事の再発防止に関する第三者委員会 議事録

1 日 時 令和4年6月29日(水) 午前10時00分～11時30分

2 場 所 檜葉町コミュニティセンター大会議室

3 出席者 【委員】秋元 正國氏(双葉地方町村会常務理事兼事務局長)  
伊藤 宏氏(福島大学名誉教授)  
木村 和夫氏(令和4年度檜葉町行政区長代表)  
佐藤 慎也氏(弁護士)  
※五十音順(伊藤氏が委員長、秋元氏が副委員長)

【町】大和田 賢司(檜葉町副町長)

猪狩 充弘(総務課長)

横田 浩秀(総務課 総括専門員)

坂本 和也(総務課 課長補佐兼行政係長)

芦口 純一(総務課 財政係長兼財産管理係長)

吉田 顕(総務課 財産管理係)

西尾 潤也(総務課 財政係)

片山 利夫(産業振興課長)

松本 重人(産業振興課 課長補佐兼農林土木係長)

4 会議内容 ・猪狩総務課長の進行により開会  
・伊藤委員長より挨拶  
・伊藤委員長の進行により議事に入る

5 議 事

#### (1) 委員から頂いた主なご意見ご質問について

事務局より、資料に基づき説明。以下、委員からの主な意見と事務局からの回答。

委 員：資料には記載が無いが、前回会議において、職員の休暇取得についても触れた。長期休暇を含めた年次有給休暇の取得促進を図ることで、担当者が不在でも他の職員が代わりに事務を行える。檜葉町の休暇取得率ほどの程度か？

事務局：原則としては10日以上取得するよう全職員に促しているが、満たない職員も多い状況。

委 員：働き方改革及び不正防止の観点からも重要であるため、促進するべき。

## (2) 第1回会議、第2回会議を踏まえた整理について

事務局より、資料に基づき説明。以下、委員からの主な意見。

委員：公金管理体制や情報管理体制、チェック体制の甘さが大きく、それらの制度があっても運用が適正では無かった。

また「正当化」で言えば倫理観、モラルの欠如という個人の問題もあるが、組織としての人事管理も重要。3年程度での人事異動を行うことで、不祥事を防げた可能性もある。

委員：不正のトライアングルというモデルを活用して整理はされているが、最終的な報告書において活用するかは検討が必要。

## (3) 再発防止策の検討について

事務局より、資料に基づき説明。以下、委員からの主な意見と事務局からの回答。

委員：適正な事務執行、運営に関するチェックに関しては、リスクマネジメント委員会の設置等も考えられる。

行動規範を考える場合、大事なものは職員マインド・自覚の向上。組織の持つ長期的なビジョン遂行にあたって、個人の意欲を向上させ、自覚を高めつつ、適正な仕事を行っていくことが、行動規範に繋がる。

委員：事務の適正化については事務処理の見える職場環境が必要であり、上司等のチェック機能が重要だが、風通しの良い職場とするためには、監視ではなく、カバーし合うチームワーク。

委員：悪いことをやらないように締め付けるのではなく、良いことをやるように動機づける方向性と、そのための方法論が大事。例えば業務改善について職員が役場内でプレゼンを行う等、自分も参加する機会を与える仕組み。町の各種計画に関しても、実行を意識して日常の業務にあたることが重要。

委員：研修に関しては、やはり民間向けの研修が参考になる。問題解決の研修を行い、グループ討議、問題解決をすることで職員の意識やコミュニケーション力が高まる。

委員：人事管理で問題になるのは、替えが効かない、専門性の高い仕事。そのような仕事はあるか？

事務局：震災以降はハードの復旧等が多く、技術職が該当する。

委員：職員採用の際、保証人はつけている？

事務局：不祥事案件を受け、令和4年度の採用から保証人を2人付けることとした。

委員：勤務意欲について、自治体であっても給料や昇給といった要素は重要。制度は整っているのか？

事務局：人事評価制度を導入している。現在のところ給料等には反映されていないが、意欲や勤務状況が反映されるよう、検討を進めている。

委員：資料ではミーティングの徹底と記載があるが、堅苦しいものでは逆に風通しが悪くなる。冗談を言い合えるような雰囲気づくりも大事。

#### **(4) 倫理規程の検討について**

事務局より、資料に基づき説明。以下、委員からの主な意見と事務局からの回答。

委員：倫理規程の作成手順、スケジュール感は？

事務局：総務課で案を作成し、町長決裁を受けることで制定となる。第三者委員会からの答申を待たず、早々に制定する考え。

#### **(5) 報告書の構成案について**

事務局より、資料に基づき説明。以下、委員からの主な意見。

委員：報告書作成にあたっては、簡潔明瞭としたい。詳細は別途資料に記載。要点を押さえ、わかりやすくすることが大事。

#### **(6) 今後のスケジュール及び進め方について**

事務局より、資料に基づき説明。以下、委員からの主な意見と事務局からの回答。

委員：最終の第5回会議についても、単なる報告書の提出ではなく、報告書修正の可能性も含んだ委員の確認の場としたい。

以上をもって、閉会。